



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月12日  
東

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所  
 コード番号 2708 URL <https://www.kuze.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)市川 明夫 (TEL)03(3987)0018  
 コーポレートサポート本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,065	41.2	△48	—	△36	—	29	—
2022年3月期第1四半期	9,252	61.7	△522	—	△460	—	△455	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 51百万円 ( —%) 2022年3月期第1四半期 △419百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	6.57	—
2022年3月期第1四半期	△123.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	18,370	3,528	19.2
2022年3月期	17,674	2,777	15.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,528百万円 2022年3月期 2,777百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2023年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	30.1	△230	—	△230	—	△250	—	△67 54
通期	54,000	23.1	350	—	360	—	280	—	75 65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	4,626,327株	2022年3月期	3,882,500株
2023年3月期1Q	一株	2022年3月期	181,118株
2023年3月期1Q	4,514,520株	2022年3月期1Q	3,701,382株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9
(収益認識関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、3年ぶりに行動制限のない状況で推移し、ゴールデンウィークの人出も、新型コロナウイルス感染症前の2019年には及ばなかったものの大きく回復し、サービス業を中心にやや持ち直しの傾向にありました。一方で、円安やウクライナ情勢等に伴う、エネルギー価格の高止まりや諸物価の高騰、更に人手不足も顕著になりました。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場についても、前年同四半期累計期間比では大きく回復したものの、諸物価の上昇や6月後半からの感染者の増加などにより、新型コロナウイルス感染症前の回復にはなお時間がかかる状況にあります。

当社グループは、このような状況のなか、昨年度に引き続き諸経費の圧縮を通じ、損益分岐点の低減に取り組むとともに、既存のお客様へのサービス維持・継続に努めました。同時に中食・惣菜関連、給食・ヘルスケア関連等の新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい業態への営業活動を強化し、この分野の割合を増やしております。また、飲料分野の強化を進めるとともに、前年度に立ち上げた物流受託事業も堅調に推移しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は130億65百万円（前年同期比41.2%増）、営業損失は48百万円（前年同期は5億22百万円の営業損失）、経常損失は36百万円（前年同期は4億60百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（前年同期は4億55百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、2022年3月18日に締結した「資本業務提携契約」に基づき4月11日に国分グループ本社株式会社から約7億円の第三者割当の払込みを受けました。これにより財務基盤を強化し新型コロナウイルス感染症後の成長に向けて尽力してまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間比では大きく売上が伸張したものの、新型コロナウイルス感染症は収束には至らず、新型コロナウイルス感染症発生前の水準までの回復には至りませんでした。このような状況にあって、当社グループは引き続き経費削減に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい分野の営業活動に注力致しました。その結果、売上高は118億23百万円（前年同期比43.4%増）、セグメント利益（営業利益）は96百万円（前年同期は3億50百万円のセグメント損失）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。世界的な原材料やエネルギー価格の高騰に加え、急激に進んだ円安により仕入コストの上昇が顕著となっております。これに対し適正な価格にするとともに、コスト削減や通販会社等の新たな取引先開拓も進めてまいりました。その結果、売上高は12億19百万円（前年同期比22.8%増）、セグメント利益（営業利益）は34百万円（前年同期は4百万円のセグメント損失）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は34百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億96百万円増加し、183億70百万円となりました。これは主として、現金及び預金が1億78百万円、受取手形及び売掛金が3億12百万円、商品及び製品が2億34百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、148億42百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が10億43百万円増加し、短期借入金が9億円、長期借入金が2億1百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ7億51百万円増加し、35億28百万円となりました。これは主として国分グループ本社株式会社に対する第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分によるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の15.7%から19.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,537	3,716
受取手形及び売掛金	5,267	5,579
商品及び製品	2,404	2,638
原材料及び貯蔵品	292	301
その他	528	498
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	12,017	12,720
固定資産		
有形固定資産	2,410	2,394
無形固定資産	367	335
投資その他の資産		
投資有価証券	1,237	1,257
その他	1,744	1,767
貸倒引当金	△103	△104
投資その他の資産合計	2,878	2,920
固定資産合計	5,656	5,650
資産合計	17,674	18,370
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,308	7,352
短期借入金	2,323	1,423
1年内返済予定の長期借入金	1,041	965
未払金	756	809
未払法人税等	68	30
賞与引当金	217	372
その他	420	386
流動負債合計	11,135	11,340
固定負債		
長期借入金	3,020	2,819
役員退職慰労引当金	215	219
退職給付に係る負債	223	225
資産除去債務	95	95
その他	207	142
固定負債合計	3,762	3,501
負債合計	14,897	14,842

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302	576
資本剰余金	249	523
利益剰余金	1,832	1,861
自己株式	△151	—
株主資本合計	2,231	2,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	422
為替換算調整勘定	108	137
退職給付に係る調整累計額	7	6
その他の包括利益累計額合計	545	566
純資産合計	2,777	3,528
負債純資産合計	17,674	18,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	9,252	13,065
売上原価	7,270	10,246
売上総利益	1,981	2,818
販売費及び一般管理費	2,504	2,866
営業損失(△)	△522	△48
営業外収益		
受取事務手数料	10	14
受取配当金	8	2
雇用調整助成金	30	0
その他	25	14
営業外収益合計	74	32
営業外費用		
支払利息	10	13
支払手数料	1	4
その他	0	2
営業外費用合計	12	20
経常損失(△)	△460	△36
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	5	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△465	△36
法人税、住民税及び事業税	7	23
法人税等調整額	△17	△89
法人税等合計	△10	△65
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△455	29
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△455	29



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△455	29
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△7
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	19	29
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	35	21
四半期包括利益	△419	51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△419	51
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月11日を払込日とする国分グループ本社株式会社を割当先とする新株式発行及び自己株式の処分を行い、資本金及び資本準備金が274百万円それぞれ増加し、自己株式が151百万円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の連結財務諸表「注記事項(重要な会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(法人税等の税率変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の変更)

当社は、2022年9月1日付で資本金を100百万円に減資して税制上の中小法人に移行することにより、法人事業税の外形標準課税が不適用等となります。これらに伴い、2022年4月1日以降に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産及び繰延税金負債の算定に使用する法定実効税率を30.6%から34.6%に変更しております。

この税率変更等により、繰延税金資産と相殺後の繰延税金負債は18百万円減少し、当第1四半期連結累計期間の法人税等調整額は42百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業		
売上高					
外部顧客への売上高	8,236	993	1	21	9,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	—	33	—	43
計	8,246	993	34	21	9,295
セグメント利益又は損失 (△)	△350	△4	20	△3	△337

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△337
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△188
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△522

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業		
売上高					
外部顧客への売上高	11,820	1,219	1	23	13,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	33	—	36
計	11,823	1,219	34	23	13,101
セグメント利益又は損失 (△)	96	34	25	△8	147

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	147
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△196
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△48

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
首都圏	6,053	871	—	6,925	16	6,941
中京圏	389	31	—	421	4	426
関西圏	1,044	56	—	1,100	—	1,100
海外・その他	749	33	—	782	—	782
顧客との契約から生じる収益	8,236	993	—	9,230	21	9,251
その他収益	—	—	1	1	—	1
外部顧客への売上高	8,236	993	1	9,231	21	9,252

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
首都圏	8,850	1,015	—	9,865	22	9,887
中京圏	538	38	—	576	1	577
関西圏	1,607	109	—	1,716	—	1,716
海外・その他	824	57	—	881	—	881
顧客との契約から生じる収益	11,820	1,219	—	13,040	23	13,063
その他収益	—	—	1	1	—	1
外部顧客への売上高	11,820	1,219	1	13,041	23	13,065

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。